

(3)「ブランディングにおけるグッドソーシャルの取り組み」
松本 卓(合同会社つなぐ代表)

(4)「地域との協働を視野にいたした人材育成～看護の視点から～」
坂本すが(東京医療保健大学副学長)

(5)「医療DXの実現にて可能になる安全な医療環境」
田中聖人(京都第二赤十字病院特任院長補佐)

1. 地域連携のIT化と地域連携クリティカルパス

座長：野村一俊(医療法人朝日野会朝日野総合病院病院長)
本山 健太郎(福岡赤十字病院外科部長兼病院情報管理室長)

(1)「2024年惑星直列大改定をふり返る」

武藤正樹(社会福祉法人日本医療伝道会衣笠病院グループ理事/よこすか地域包括ケア推進センター長)

(2)「熊本に於ける大腿骨近位部骨折IT地域連携パスの実際と課題」

渡辺充伸(一般財団法人杏仁会江南病院副院長)

(3)「医療連携のIT化と電子連携パス～あじさいネット@長崎の取組～」

松本武浩(長崎大学病院准教授病院長補佐医療情報部部長/総合患者支援部メディカルサポートセンター長/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学専攻医療情報学分野)

2. 進みつつあるクリティカルパスの標準化とその可能性～AMED「ePath事業」の展開～

座長：中島直樹(九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター教授)

羽藤慎二(国立病院機構四国がんセンター院長補佐(兼)患者・家族総合支援センター部長)

(1)基調講演「医療情報の標準化がもたらす医療の標準化」

中島直樹(九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター教授)

(2)「標準化クリティカルパス「ePath」を知ろう！仕組みから解析まで」

若田好史(国立病院機構九州医療センター医療情報管理センター医療情報システム管理部長)

(3)「看護から見たクリティカルパスの標準化」
村岡修子(NTT東日本関東病院副看護部長)

(4)「ePathを基盤とした電子ワークシートへの発展(仮)」
松木絵里(慶應義塾大学病院血液内科専任講師)

(5)「ePathが生み出すデジタルトランスフォーメーション」
山下貴範(九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター講師)

3. 医療安全とICTとの共存

座長：宇都 由美子(鹿児島大学病院医療情報部特任教授/副院長)
坂本すが(東京医療保健大学副学長)

(1)「医療現場の安心・安全をICTで支援～課題解決事例を交えて～」

大西 元(アドソル日進株式会社常務取締役/ソリューション事業本部長)

(2)「病院長からみた医療安全とICT」

富永隆治(福岡和白病院院長)

(3)「患者安全から見たICTの利活用のあり方」

小林美亜(山梨大学医学部附属病院病院経営管理部医療情報部特任教授)

(4)「看護のDXと医療安全(仮)」

村岡修子(NTT東日本関東病院副看護部長)

4. ペイシエントハラスメントに対する対策

座長：谷口英樹(日本赤十字社長崎原爆病院院長)
河野博之(さくら病院副院長)

(1)「医療事故・ペイシエントハラスメント～患者家族との向き合い方～」

福崎博孝(弁護士法人ふくざき法律事務所代表弁護士)

(2)「ペイシエントハラスメントと応召義務～正当事由はどこまで認められるか～」

大磯 義一郎(浜松医科大学医学部医療法学教授)

(3)「未定」

栗原 慎太郎(長崎大学病院安全管理部長)

5. 医療事故の少ない職場環境づくり～心理的安全性の観点から～

座長：中根 博(国立病院機構福岡東医療センター院長)
相馬孝博(千葉大学医学部附属病院医療安全管理部特任教授)

(1)「インシデント報告を通じた心理的安全性の醸成(仮)」
中島 勸(虎ノ門病院医療安全部部長/病院長補佐)

(2)「心理的安全性を支援するヒント(仮)」

高橋静子(医療法人鉄蕉会亀田総合病院医療安全管理室セーフティマネージャー)

(3)「未定」

辰巳陽一(近畿大学病院安全管理センター・医療安全対策部)

(4)「心理的安全性を高める職場の作り方(仮)」

山口(中上)悦子(大阪市立大学医学部附属病院医療の質・安全管理部病院教授/部長)

(5)「安心して働ける職場を目指して(仮)」

香崎 智恵美(国立病院機構福岡東医療センター医療安全管理係長)

6. 地域医療連携に必要な、信頼と調和による医療マネジメントとは～地域と共に質の高い地域医療介護連携をつくる～

座長：中村起也(広南病院脳神経内科/医療福祉連携士4期生)

黒岩伯周(合同会社SLL LLさねかた(地域密着型通所介護)生活相談員/医療福祉連携士6期生)